

合流式下水道緊急改善計画 事業評価シート

評価実施年月:平成29年3月

1. 対象事業	釜石市 大平処理区
2. 実施主体名称	岩手県 釜石市
3. 計画期間	平成17年度～
4. 対象事業の進捗状況	

下記の内容について、計画通りに実施している。

- ①汚濁負荷量の削減
 分流並水質を達成するために、合流区域37.5haの内、14ha分流化した。
 処理場からの汚濁負荷量削減のため、高速ろ過施設を建設中。
- ②公衆衛生上の安全確保
 分流並水質を達成するために、合流区域37.5haの内、14ha分流化した。
 第1・2雨水吐き室に設置されている越流堰を10cm嵩上した。
- ③きょう雑物の削減
 きょう雑物を極力除去するため、雨水吐き室にスクリーンを設置した。

5. 目標達成状況と達成の見通し

改善目標

- ①汚濁負荷量の削減(分流式下水道並の汚濁負荷とすること)
 →分流並の目標値:BOD放流負荷量 91.5t/年
- ②公衆衛生上の安全確保(未処理放流水の回数半減)
 →目標越流回数: 33回/年
- ③きょう雑物の削減(きょう雑物の流出防止)
 →全雨水吐き室にスクリーン設置

改善目標	評価指標	対策前	中間評価	改善目標
緊急改善事業	合流式下水道改善率	0% (H15)	33.3% (H28)	100% (H29)
① 汚濁負荷量の削減	BOD放流負荷量	96.7t/年	95.0t/年	91.5t/年
② 公衆衛生上の安全確保	年間越流回数	67回/年	33回/年	33回/年
③ きょう雑物の削減	スクリーン設置箇所数	設置箇所無し	3箇所設置	3箇所設置

6. 対象事業の整備効果の発現状況等

下水道法施行令第6条第2項等に基づく雨水吐口及び下水処理場からの放流水質の調査結果
 BOD 30.2mg/l(平成27年12月11日測定)

7. 事業の効率化に関する取り組み状況

SPIRIT21で開発されたスクリーンのうち、設置が容易で電源や制御装置を必要としない無動力型のスクリーンを採用することで、事業の効率化と維持管理費の削減を図った。

8. 今後の方針

大平下水処理場に設置工事中である、高速ろ過施設を完成させることにより、改善目標が達成される見込み。